アイメイクの２色使い/Wペンシルの受容性チェック

1	アイブロウ

	高　校　生	大　学　生
ｵﾋﾟﾆｵﾝ ﾓﾆﾀｰ	**2色使いの眉ﾒｲｸについて** ・眉の形を変えることにより必要となるｱｲﾃﾑが変わる ・うすい眉、ｶｯﾄしてなくなった眉ﾒｲｸには2ｱｲﾃﾑが必要 →いずれも ﾊﾟｳﾀﾞｰ＋ﾍﾟﾝｼﾙ **くり出しﾀｲﾌﾟの商品について** ・使用経験有→× 芯が折れて使いにくい 先が細く削れない ・使用経験無→× 芯がやわらかそう、かつﾒﾘﾊﾘがつけにくいというｲﾒｰｼﾞあり	**2色使いの眉ﾒｲｸについて** ・現在2ｱｲﾃﾑ使いを実施(ﾊﾟｳﾀﾞｰ＋ﾍﾟﾝｼﾙ)(2名) ・ﾍﾟﾝｼﾙの1本が太くて、ぼかすことができるのであればOKという意見と、ﾍﾟﾝｼﾙ＝ぼかしにくい、失敗した時、修正しにくいため1ｱｲﾃﾑはﾌﾞﾗｼがよいという意見に分かれる **Wﾍﾟﾝｼﾙの可能性** ・ｵﾋﾟﾆｵﾝは自分に合う眉ﾒｲｸｽﾀｲﾙが確立されているためﾍﾟﾝｼﾙに当たるもの →2本が1本でOKという位置づけの方が、Wﾍﾟﾝｼﾙを受入れやすい その場合の色は、濃茶＋ｸﾞﾚｰ
一般 ﾓﾆﾀｰ	●初めて使うｱｲﾌﾞﾛｳは、ﾍﾟﾝｼﾙﾀｲﾌﾟがよいと思っているﾌﾞﾗｼ付きはなおよい	**2色使いの眉ﾒｲｸについて** ・ﾍﾟﾝｼﾙとﾊﾟｳﾀﾞｰの2ｱｲﾃﾑ使いの方が、自然な仕上がりという認識がある ・ｱｲﾒｲｸに関心が弱いと、2色使いというところまで意識が及ばない **Wﾍﾟﾝｼﾙの可能性** ・現在、状況により、ﾍﾟﾝｼﾙのみで仕上げている簡便指向者には好評 ・一方、反対意見として「ぼかす」ことにこだわると、はけやﾁｯﾌﾟは欠かせない また、2色使いについても別々に好きな色を選ぶという見解がある

◆ﾍﾟﾝｼﾙ使いが定着している高校生にとって、くり出しﾀｲﾌﾟは縁遠いものになっている。むしろ、大学生の方が「ﾀｲﾌﾟ」に対して寛容である

◆大学生では、ﾊﾟｳﾀﾞｰとﾍﾟﾝｼﾙの2ｱｲﾃﾑ使いも多く見られる
ｱｲﾌﾞﾛｳWﾍﾟﾝｼﾙには以下の方向性がある

①太・細の組み合せ
→簡便指向に対応する
→ﾊﾟｳﾀﾞｰ使いをしていない人への啓蒙

②色違いの組み合せ
(1本で2色のｺﾝﾌﾟﾚｯｸｽﾀｲﾌﾟ)
→現ﾍﾟﾝｼﾙ使用者

株式会社ウィズプランニング

2　アイライナー

	高　校　生	大　学　生
ｵﾋﾟﾆｵﾝ ﾓﾆﾀｰ	**ｱｲﾗｲﾅｰの2色使いについて** ・ﾒｲｸのｶﾗｰﾄｰﾝの好みによってﾆｰｽﾞも変わる ﾍﾞｰｼｯｸｶﾗｰの組み合わせ、又は冒険色に分かれる ex)ﾌﾞﾗｳﾝﾒｲｸ→ﾓﾉﾄｰﾝｶﾗｰ(ｼﾙﾊﾞｰｸﾞﾚｰ/ﾌﾞﾗｯｸ) ｶﾗｰﾒｲｸ　→白＋色物(ﾏｽｶﾗと合わせる ex.緑) **ｱｲﾗｲﾅｰのﾀｲﾌﾟ** ・黒などのﾍﾞｰｼｯｸｶﾗｰなら、ﾍﾟﾝｼﾙでもよいが、ｺﾞｰﾙﾄﾞやｼﾙﾊﾞｰ、色物などは、発色がﾎﾟｲﾝﾄとなるため、ﾘｷｯﾄﾞがよいという見解である(2名) **Wﾍﾟﾝｼﾙの方向性** ・黒・茶などのﾍﾞｰｼｯｸｶﾗｰでｱｲﾌﾞﾛｳ、ｱｲﾗｲﾅｰに併用できる ・ﾍﾞｰｼｯｸｶﾗｰと冒険色の組合せなら、ﾄﾗｲｱﾙしやすい	**ｱｲﾗｲﾅｰの2色使いについて** ・実施者は1名のみ。ﾍﾟﾝｼﾙ→ｼｬﾄﾞｳ→ﾘｷｯﾄﾞで仕上げ **ﾍﾟﾝｼﾙﾀｲﾌﾟの2色使い** ・実施者はﾒｲｸｽﾀｲﾙが決まっており、取込みにくい ・未経験者は関心を示す ex)同系色の色物の組合せ　→ｵﾚﾝｼﾞ＋ｲｴﾛｰ、濃緑＋淡緑 ﾍﾞｰｼｯｸｶﾗｰ＋色物の組合せ→黒/茶＋ﾌﾞﾙｰ/ｼﾙﾊﾞｰ **ｱｲﾗｲﾅｰのﾀｲﾌﾟ** ・強く、細く描きたいとのﾆｰｽﾞから、ﾍﾟﾝｼﾙﾀｲﾌﾟにﾌｨｯﾄ感がある くり出しﾀｲﾌﾟは芯が柔かい、先が太いという点から使いづらいとしている **Wﾍﾟﾝｼﾙの方向性** ・ｱｲﾗｲﾅｰ＋ｼｬﾄﾞｳの組合せ(ﾀｲﾌﾟﾊﾞﾘｴｰｼｮﾝ) ・ｺﾞｰﾙﾄﾞ、ｼﾙﾊﾞｰなど、光物同士の組合せ(ｶﾗｰﾊﾞﾘｴｰｼｮﾝ) ・光物＋色物の組合せ(ｶﾗｰﾊﾞﾘｴｰｼｮﾝ)
一般 ﾓﾆﾀｰ	●くり出しﾀｲﾌﾟに馴染みがなく、ﾍﾟﾝｼﾙﾀｲﾌﾟがよいとの意見がほとんど **Wﾍﾟﾝｼﾙの方向性** ・ﾍﾞｰｼｯｸｶﾗｰ同士、ﾍﾞｰｼｯｸｶﾗｰ＋色物の組合せに使用意向あり	**ｱｲﾗｲﾅｰの2色使い/ﾍﾟﾝｼﾙﾀｲﾌﾟの2色使いについて** ・ﾍﾟﾝｼﾙﾀｲﾌﾟ2ｱｲﾃﾑ実施者(1名)は、太・細のﾗｲﾝの2色使い(黒/えんじ色) →ﾍﾟﾝｼﾙﾀｲﾌﾟの2色使い ex)黒(濃い色)＋水色(淡い色) ・その他のﾓﾆﾀｰも関心はあるが、購入に至るには少し距離がある **ｱｲﾗｲﾅｰのﾀｲﾌﾟ** ・ﾍﾟﾝｼﾙﾀｲﾌﾟ(2名)、くり出しﾀｲﾌﾟ(1名)であり、くり出しﾀｲﾌﾟﾕｰｻﾞｰは、Wﾍﾟﾝｼﾙに対する関心も高い **Wﾍﾟﾝｼﾙの方向性** ・ｱｲﾗｲﾅｰの2色。同系色の色物2色(ex.ｲｴﾛｰ＋ｵﾚﾝｼﾞ) ・ｱｲﾗｲﾅｰとｼｬﾄﾞｳ　┐ﾍﾞｰｼｯｸｶﾗｰ＋ﾊﾟｰﾙｶﾗｰ ・細いかたい芯＋太くやわらかい芯┘ﾍﾞｰｼｯｸｶﾗｰ＋色物

◆ｱｲﾗｲﾅｰの2色使いには、高校生・大学生とも関心がある
高校生は白のﾗｲﾅｰに関心がある。一方、色物は発色のよいﾘｷｯﾄﾞがよいという声もあるが、実際には使いこなせず、購入にふみきれない可能性もある

◆大学生の方は、どのような組み合わせでもいろいろな楽しみ方ができる土壌がある

想定できる色
・ﾍﾞｰｼｯｸｶﾗｰ(黒・茶・白)＋色物
・同系色の濃淡色物2色(ex.ｲｴﾛｰ/ｵﾚﾝｼﾞ)
・ﾊﾟｰﾙｶﾗｰ＋色物
※色味によっては、ｼｬﾄﾞｳ(太柔)、ｱｲﾗｲﾅｰ(細硬)の組合せがよい

株式会社ウィズプランニング

3	アイシャドウ

	高　校　生	大　学　生
ｵﾋﾟﾆｵﾝ ﾓﾆﾀｰ	**ｸﾘｰﾑ･ﾘｷｯﾄﾞの使用経験から** ・ｸﾘｰﾑﾀｲﾌﾟは、ｸﾚﾝｼﾞﾝｸﾞしにくい。指づけのため微妙な調整・重ねぬりができない点がﾊﾟｳﾀﾞｰに劣る ・ﾍﾟﾝｼﾙﾀｲﾌﾟも濃淡がつけにくい **実物提示後の関心** ・海外ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ（ｴｽﾃｨ、ｹﾞﾗﾝ）も購入検討範囲に入っている ・ﾁｯﾌﾟ付きﾀｲﾌﾟに関心あるが（2名）、重くつきすぎる **色選びのﾎﾟｲﾝﾄ** ・ﾌﾟﾛﾒｲｸのﾓﾉﾄｰﾝ派とｶﾗﾌﾙ派に分かれる	**ｸﾘｰﾑ･ﾘｷｯﾄﾞの使用経験から** ・ものによっては、ﾘｯﾌﾟと兼用できたりする。重たくつくものもあり、関心はあるが“愛用する”には至っていない **実物提示後の関心** ・ﾊﾟｰﾙの輝きに関心が高く、購入意欲がわく。ｼﾙﾊﾞｰ、ﾎﾜｲﾄ、ｺﾞｰﾙﾄﾞなど、ﾊｲﾗｲﾄｶﾗｰ兼ｼｬﾄﾞｳに受容性あり（ｼﾞｬｰﾀｲﾌﾟ） ※淡い色や肌色になじむ色は、ｸﾘｰﾑﾀｲﾌﾟに抵抗感がなくなる ・しっとりと肌なじみがよく、冬場乾燥対策にもなるという意識がある **次期購入したいｶﾗｰ** ・黒、ｸﾞﾚｰ、白のﾓｰﾄﾞ系ｶﾗｰ ・ｺﾞｰﾙﾄﾞ、ｼﾙﾊﾞｰのﾊﾟｰﾃｨ系 ・季節を意識した色として、冬の水色、ｲｴﾛｰ/ｵﾚﾝｼﾞ 流行のﾊﾟｰﾌﾟﾙのｸﾞﾗﾃﾞ ・ﾊﾟｰﾙがきいている明るいﾊﾟｰﾌﾟﾙ系、淡いﾋﾟﾝｸ、淡い黄緑（すべてｸﾘｰﾑﾀｲﾌﾟOK）
一般 ﾓﾆﾀｰ	●ｱｲﾒｲｸの経験が少ないと、ﾀｲﾌﾟの選択まで意識がおよばない 使いやすそう（ｼﾞｬｰﾀｲﾌﾟ）と手が汚れる、うまくつけられなさそう…という憶測の範囲 **色選びのﾎﾟｲﾝﾄ** ・ﾄﾚﾝﾄﾞに敏感なﾔﾝｸﾞは黒人系ﾒｲｸ、一般的なﾔﾝｸﾞはﾌｧｯｼｮﾝを意識して選ぶ	●あまり冒険を好まず、関心もｵﾋﾟﾆｵﾝに比べるとかなり弱くなる まだ所有していない色への補完という視点で色選びを行う ﾀｲﾌﾟもﾊﾟｳﾀﾞｰﾀｲﾌﾟがよいとしており、新しい剤型への取込み意欲が弱い

◆ｸﾘｰﾑ･ﾘｷｯﾄﾞﾀｲﾌﾟのｱｲｼｬﾄﾞｳに限定してみると、高校生はﾁｯﾌﾟ付のｽﾃｨｯｸﾀｲﾌﾟ（ﾏｽｶﾗﾀｲﾌﾟ）、大学生はｸﾘｰﾐｨ&ｼﾙｷｰなｼﾞｬｰﾀｲﾌﾟに関心がある
またｸﾘｰﾑﾀｲﾌﾟｱｲｼｬﾄﾞｳは、ｵﾋﾟﾆｵﾝﾕｰｻﾞｰに対し、NEW感が有効である

◆季節的には保湿性を期待するという点からも、秋冬型の商品として適している

◆色味としては、濃色は重ねづけがしにくい、濃淡の調整がしにくい、等の点からはずした方がよい
方向性は以下の通り
①ﾊｲﾗｲﾄとして使えるｶﾗｰ
ex）ﾎﾜｲﾄ、淡ﾋﾟﾝｸ、淡ｲｴﾛｰ、淡ﾌﾞﾙｰ
②ｱｸｾﾝﾄｶﾗｰ
ex）ｺﾞｰﾙﾄﾞ系、ｼﾙﾊﾞｰ系（ﾊﾟｰﾙ強）
③肌なじみのよいｱｲﾒｲｸの下地となるｶﾗｰ
ex）ﾊﾟｽﾃﾙｶﾗｰ、ｵｰｸﾙ系の濃淡

※ｱｲﾍﾞｰｽﾒｲｸとしてﾊﾟｳﾀﾞｰﾀｲﾌﾟとの重ね使いの提案という方向性もある
※秋冬の季節性を考えると、ﾊﾚｰｼｮﾝｶﾗｰにﾄﾚﾝﾄﾞ性がある